



まだ眠そうな顔で学校に向かう君たち。
でも、途中で友だちや町の人たちと会うたびに、
いつもの輝いた表情に変わっていく。
そんな心温まる光景が、
「これからもずっと続く」といふね。

今月の主な内容

【特集】 5月号のテーマ

- 今年のまちづくり予算
- まちの話題 [行政報告／3・4月の出来事／きもべつの文芸]
- お知らせ
[健康通信VOL.14／役場の新しい機構図 [ほか]]
- すくすく1歳です／まちのカレンダー

今年のまちづくり予算

I

平成21年度予算と主な施策

本町の平成21年度予算は、一般会計25億6711万2千円、前年度当初予算額と比較し9.7%の増となりましたが、特別会計を含む全会計は、国民健康保険や介護保険の保険者が後志広域連

合へ移行したことなどにより特別会計が大きく減額したことなどから、29億8621万9千円と前年度(34億536万2千円)を大きく下回りました。

主な施策は、次のとおりです。

地場産業の振興

アスパラガス・馬鈴薯・かぼちゃの生産振興……………661万円

本町の特産品であるアスパラガスの増産対策として、JAようてい、クレードル興農(株)と連携して生産者に対し苗代の助成を行います。本年度の助成面積は、ホワイトアスパラガス0.5ha、グリーンアスパラガス0.5haを予定しています。

また、馬鈴薯の生産に重大な影響を及ぼす病害虫対策として、シストセンチュウ対策の土壌浄化と病害虫防除を実施するため、種子・食用馬鈴薯振興対策協議会に支援します。

なお、昨年度に引き続き、かぼちゃ作付予定のほ場土壌診断に対する助成を行います。

土づくり対策

安全・安心な農作物への消費者の関心が高まっていることから、有機資源を活用した健康な土づくりが重要となっています。そのため土づくりに

478万円

の指定金融機関から融資を受けた場合、利子補給します。

勤労者生活安定資金貸付のための預託事業……………500万円

勤労者に生活資金の融資を行うため、北海道労働金庫にその原資を預託します。

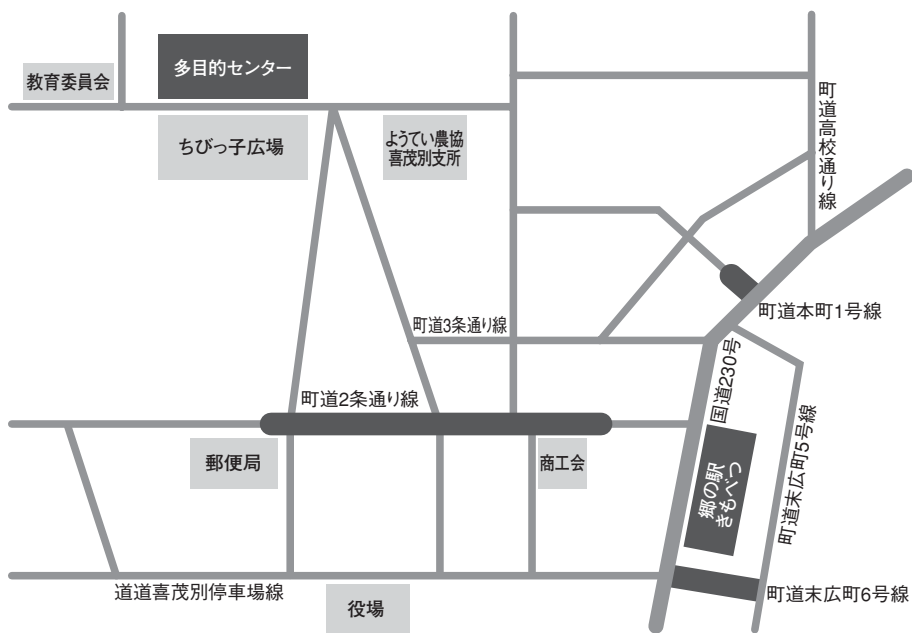
きもべつ青年交流セミナーへの助成……………50万円

異業種間交流を通じてまちづくりを進める青年交流セミナーの活動に助成します。

まちづくり交付金事業……………4億8584万円

平成18年度より着手している市街地区再整備について、まちづくり交

まちづくり交付金事業の場所



欠かせない緑肥作物の利用や堆肥の購入及び粉碎バーク購入への助成を行います。

農道補修助成……………20万円

町道に認定されていない、農地に隣接した農道を個人で整備した場合、砂利代の一部を助成します。

新規作物導入チャレンジ事業……………150万円

本町の気候風土に適し、収益性の高い地域特産物となりうる新規作物の導入にチャレンジする農業者に対して、助成します。

森林整備事業……………1459万円

森林の多面的機能が十分発揮されるよう、適切な森林整備を計画的かつ一体的に実施します。

予定事業量は、森林整備地域活動支援事業908ha、町有林保育下刈事業7haです。

また、林道における通行車輛等の安全確保を図るためガードロープやカーブミラーなどを整備します。

商工会活動への助成……………880万円

商工業の振興を図るため、町商工会が行う経営改善指導や運営に要する経費の一部を助成し、活動を支援します。

観光関連事業の外部委託……………1730万円

事務事業見直しの一環として、観光行政事務を商工会に委託し、その費用を負担します。内容は従来の夏まつり事業、花いっぱい運動事業、フラワーストリート事業、リンケージアップ事業、観光トイレ管理業務、観光パンフレット作成業務、シーニックバイウェイ情報業務、観光ボランティア支援業務です。

中小企業融資利子補給金……………24万円

町内の中小企業の育成と事業運営の円滑化を図るため、事業者が町

付金を活用し市街地区の整備を図ります。本年度は町道3路線(町道2条通り線、本町1号線、末広町6号線)の改良舗装工事、「郷の駅(仮称)」整備工事、生活改善センター解体工事、多目的センター建設工事等を実施します。

公営住宅整備事業……………315万円

老朽化の進む公営住宅の品質を確保するため、外壁及び屋根塗装工事を計画的に進めます。本年度は緑町団地1棟を実施します。

教育文化環境の充実

特別支援教育……………126万円

特別な教育的支援を必要とする児童に対する日常生活活動の介助や学習活動をサポートするため、喜茂別小学校に支援員を1名配置します。

小・中学校コンピューター教育の充実……………633万円

ますます進展する情報化社会に向け、子どもたちが正しく情報を理解し活用する能力を育成するため、コンピューター教育を進めます。

遠距離通学児童生徒の通学手段の確保等……………501万円

遠距離から通学する小中学生の通学費を支弁するとともにタクシーを利用した交通手段の確保を図ります。また、喜茂別高等学校振興助成として、通学費の助成を行い家庭の負担軽減を図ります。

少年教室「わんぱく道場」事業の開催

子どもたちがゆとりを実感できるよう地域の人材や自然を活用した事業を開催します。

高齢者学習活動の推進……………10万円

18年目を向かえる「フレッシュ大学」の継続と、心のふるさと地域づくりを進める「百万本の桜を育てる会事業」を、世代を超えた交流の場と位置づけ、高齢者の学習活動を進めます。

町民スポーツ祭補助金……………40万円

スポーツを通じて町民相互の交流を図るため、町民スポーツ祭の実行委員会へ助成します。

生活環境の向上

患者輸送バスの運行……………273万円
町内の医療機関に通院する方々の交通手段として、患者輸送バスを運行します。

一般廃棄物収集・運搬業務の委託……………1897万円
燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、生ゴミ、資源ゴミの収集・運搬業務を委託します。

資源ゴミ保管・処理業務の委託……………1747万円
資源ゴミの分別保管・処理業務を処理業者等に委託します。

ゴミの広域処理に係る負担金……………3585万円

・ 俱知安町清掃センター廃棄物処理及び維持管理負担金……………1065万円

・ 蘭越町粗大ゴミ処理施設維持管理負担金……………206万円

・ 真狩村食品リサイクルセンター施設管理費負担金……………801万円

・ 羊蹄山麓環境衛生組合負担金……………1513万円

下水道施設維持管理業務……………

施設の適正管理と延命使用のためきもべつ浄化センターの水処理設備の分解掃除をします。

交通安全対策……………257万円

交通指導員の配置、町道区画線設置工事、町民交通傷害保険の加入促進や交通安全推進委員会、安全協会及び母の会に対して補助を行います。また、チャイルドシートの貸出しも行います。

地域安全対策……………474万円

地域を防犯、防災から守るため各種団体と連携するとともに活動を支援します。また、水害が発生した時に、町民が速やかに避難するため、被害程度などを予測し地図上に図示したハザードマップの作成を行います。

住宅用火災警報器の購入について高齢者や障害者世帯などを対象に助成を行います。(平成22年度まで)

介護保険事業……………1億88万円

これまで喜茂別町が保険者でしたが、本年度より保険者が後志広域連合となり保険給付などを行います。

※町が直営で運営する介護サービス……………5145万円

・ 通所介護サービス(デイサービス)

・ 訪問介護サービス(ホームヘルプサービス)

・ 居宅介護支援サービス(ケアマネジメント)

※訪問介護サービスは、月曜日から金曜日までのサービスに加え、土曜日も希望者にサービスを行います。

介護を予防する事業……………1791万円

介護を予防し、お年寄りが在宅で元気に暮らすことができるよう、ふれあい福祉センターや新たに設置した地域包括支援センターを中心に、次の事業を行います。

・ 生きがいデイサービス事業

・ 生きがいヘルプサービス事業

・ 配食サービス事業

・ お風呂利用サービス事業

・ 除雪サービス事業

・ 電話サービス事業

・ 外出支援サービス事業

・ 地域支援事業

敬老会の開催……………141万円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催します。

敬老福祉金の支給……………174万円

75歳以上の高齢者を対象に敬老福祉金を支給します。

・ 79歳以下の方……………2000円

・ 80歳以上の方……………5000円

社会福祉協議会への助成……………1050万円

社会福祉協議会の運営と事業活動に助成し、地域福祉の充実を図ります。

保健福祉サービスの充実

健康づくり推進事業……………1179万円

病気の早期発見や町民の健康増進のため、総合住民健診など各種健診のほか、健康相談、健康教育を行い、健康づくりの意識を高めます。

・ 総合住民健診(特定健診)

従来から実施している循環器健診を特定健診として実施し、特定保健指導を充実させ生活習慣病予防に取り組みます。また、早期発見、早期治療を目的とし、胃、大腸、子宮、乳がん検診の受診奨励を行います。

・ 妊婦・乳幼児等健診

健康に妊娠期を送り出産を迎えることのできるよう妊婦一般健康診査・超音波検査費用を助成するほか、各種乳幼児健診・歯科検診を実施し、子育てを支援します。

・ 予防接種

高齢者を対象としてインフルエンザ予防接種への助成を行うとともに、乳幼児における各種予防接種や中高生も対象とした麻疹・風疹の予防接種を行います。

・ 健康づくり支援事業

生活習慣病や食生活・運動・休養の正しい知識を身につけ、健康的な「生活習慣」を目指し、「体の健康」「心の健康」「食と健康」

を柱に掲げ、健康教育、健康相談や講話などを開催し栄養指導及び保健指導を行います。



知っ得栄養バランス塾

子育て支援センター事業……………1291万円

喜茂別保育所において、子育て家庭に対し、遊びの広場、育児相談、子育てサークル等の育成・支援などの子育て支援を行います。

放課後児童クラブ事業……………306万円

入所を希望する小学校低学年児童の集団保育を行い児童の健全な育成を図ります。

しらかば会給食サービス事業の助成……………50万円

ボランティアしらかば会が行っている一人暮らし等の高齢者世帯への給食サービス事業に対し助成します。

じん臓機能障害者通院交通費助成……………38万円

じん臓機能に障害のある方が、人工透析療法を受けるために通院した交通費の一部を助成します。

障害者自立支援事業……………8141万円

障害の種類によらない共通のサービスにより、さまざまな福祉サービスを組み合わせて総合的に障害のある方々の地域での生活を支援します。

喜茂別保育所給食調理業務の委託……………911万円

保育所の給食調理業務を委託します。

戦没者追悼式の開催……………29万円

7月の第4金曜日に戦没者追悼式を開催します。

乳幼児等医療給付事業……………270万円

乳幼児等に医療費の一部を助成します。

重度心身障害者医療給付事業……………1255万円

身障手帳、療育手帳で重度の判定を受けている方やひとり親家庭等の母又は父と児童の医療費を助成します。

Ⅱ

町財政の現状と課題

歳入と歳出の内訳とその推移

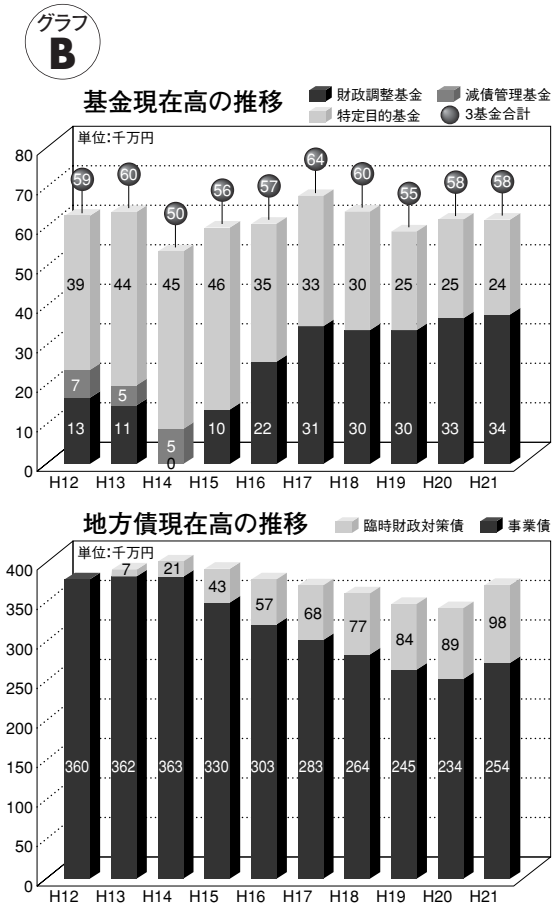
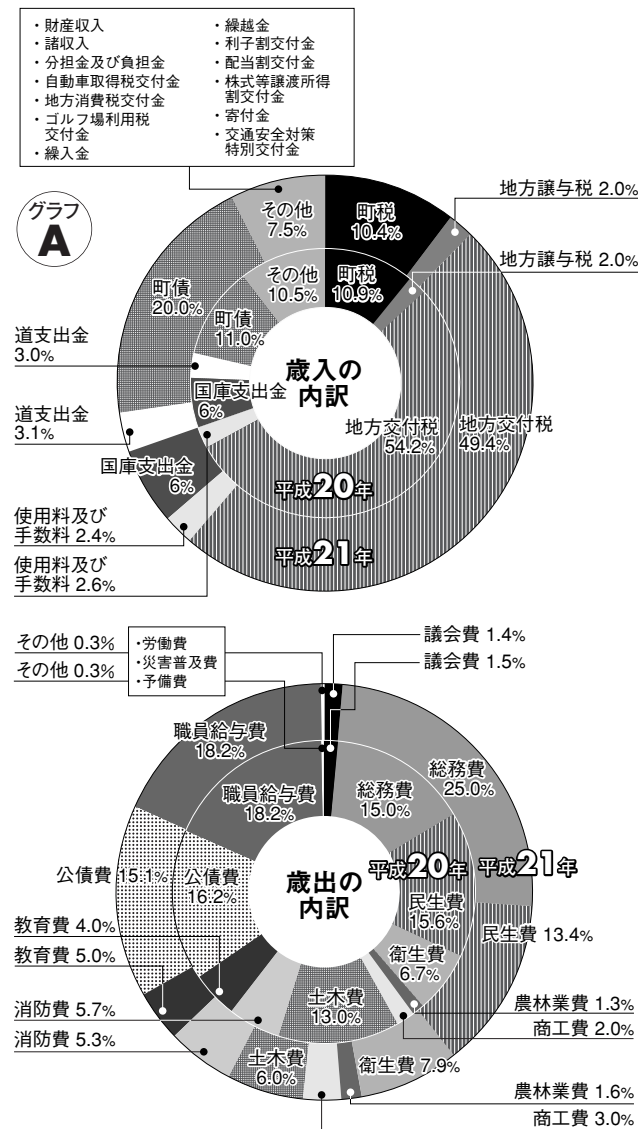
グラフAは、一般会計について、町に入るお金(歳入)と町から出るお金(歳出)を、その内訳ごとに平成20年度と21年度ではどのように違つか示したものです。

歳入では、まちづくり交付金事業の実施による地方債の借り入れ額が増加することから、町債の占める割合が大きく増加しています。

グラフBは、町の貯金(基金)と借金(地方債)の推移をグラフにしたものです。町の基金は、特定の目的をもつて積み立てられる特定目的基金、公債費償還のために積み立てられる減債管理基金、年度内の財源を調整するために積み立てられている財政調整基金があります。

20年度当初予算では、財政調整基金を6600万円取り崩すこととして予算編成をしましたが、実際には取り崩しを行わず、約2千万円程度積み立てすることを見込んでいます。さらに、健全な財政運営を目指すため、21年度は農業振興基金廃止に伴う繰り入れのみで、財政調整基金からの取り崩しはせずに予算編成を行いました。

町の地方債は、投資的経費を最小限に抑え、地方債発行を抑制してきたことから、平成14年度をピークに年々減少してきましたが、21年度は光ファイバー敷設事業や、まちづくり交付金事業において地方債発行が増加することから、21年度の地方債残高は7年ぶりに増加します。しかし、地方債の一部は、交付税により措置されることになっています。



一般会計の基金(貯金)と地方債(借金)現在高の推移

グラフBは、町の貯金(基金)と借金(地方債)の推移をグラフにしたものです。町の基金は、特定の目的をもつて積み立てられる特定目的基金、公債費償還のために積み立てられる減債管理基金、年度内の財源を調整するために積み立てられている財政調整基金があります。

20年度当初予算では、財政調整基金を6600万円取り崩すこととして予算編成をしましたが、実際には取り崩しを行わず、約2千万円程度積み立てすることを見込んでいます。さらに、健全な財政運営を目指すため、21年度は農業振興基金廃止に伴う繰り入れのみで、財政調整基金からの取り崩しはせずに予算編成を行いました。

町の地方債は、投資的経費を最小限に抑え、地方債発行を抑制してきたことから、平成14年度をピークに年々減少してきましたが、21年度は光ファイバー敷設事業や、まちづくり交付金事業において地方債発行が増加することから、21年度の地方債残高は7年ぶりに増加します。しかし、地方債の一部は、交付税により措置されることになっています。

2/24 第2回臨時議会

菅原章嗣町長から、5件の行政報告がされました。

1 第4期(平成21~23年度)介護保険事業について

平成21年4月から後志広域連合が保険者となって運営されることになった介護保険事業について、介護保険料は平成21年度から23年度までの第4期事業計画期間中は、各町村ごとの不均一賦課とすることになっています。本町においては、現行の標準月額3,000円を据え置くこととしました。しかし、次の第5期以降には、介護保険料が統一されます。

2 ふるっぶ温泉の廃止に伴う代替措置について

ふるっぶ温泉は平成20年度限りで営業を廃止することになっていますが、これまでの温泉利用者で自宅入浴できない方々については、ふれあい福祉センターの高齢者向け入浴施設を利用していただくよう、利用証の申し込みを随時受け付けることといたします。

3 倶知安厚生病院の診療機能存続に係る緊急要請について

1月19日、山麓七か町村長の出席のもと羊蹄地域医療協議会が開催され、倶知安厚生病院における厳しい病院経営に関する説明と「診療機能存続と財政支援に向けた緊急要請」が提出されました。そのなかで「出張医体制維持に必要な平成20年度分2億円の財政支援」が要請されましたが、本町としては、これまでに行った財政支援以上の負担は避けたいこと、及び倶知安町のリーダーシップと負担を明確にすべきとの考え方を示しました。

4 原油価格高騰緊急対策及び燃料・肥料価格高騰緊急対策について

町単独事業の原油価格高騰緊急対策事業として、1月末日までに免税軽油を使用する全農家に交付金が支給されました。(総額614万円)

また、国が支援する燃料・肥料価格高騰緊急対策事業について、農協組合員などの農家から申請が出されています。3月に概算払いの予定です。

5 留寿都村における合併にかかる住民投票の状況及び今後の取扱いについて

2月22日に留寿都村で行われた合併に関する住民投票の結果は、投票率67.29%、うち合併に反対した割合は75.14%となりました。この結果を受けて、2月23日留寿都村議会と村長の協議により、合併は断念するとの結論に至りました。2月25日には、合併協議会の解散が協議される予定です。

1 町営住宅について

今年度採用した建築資格のある任期付き職員を中心に、良好な公共施設の維持保全について目視等の調査を行ってきた結果、栄団地、鈴川団地、中里団地、緑町団地について、老朽化や経年劣化の課題があることがわかりました。これらについては、入居者のモラル等の課題も関連していることから、5年経過した「ストック総合活用計画」の見直しを行います。

2 景気対策プレミアム商品券発行事業について

国の補正予算事業である「地域活性化・緊急安心実現総合対策」の一環として、町民の町内での消費需要を喚起し拡大することによって地元商工業の活性化を図ることを目的に、喜茂別商工会が実施する「景気対策プレミアム商品券発行事業」に対する支援を行いました。合計4千セットの発行に対して、町は4,062,000円の補助を行い、2月6日には完売しました。小売店や燃料店をはじめ、48店舗で利用されています。

3 定額給付金事業について

定額給付金支給の日程が、当初予定の3月下旬から4月中旬になる見込みです。この原因は、振込みに係るシステム改修の対応や金融機関の支給に係る確認作業などの時間が当初予定よりも時間を要することが明らかとなったためです。

4 損害賠償請求事件の経過および損害賠償金支払いに係る協議状況について

第1点のまちづくり交付金事業用地買収に伴う損害賠償請求訴訟については、個人情報に関わる内容が主たるものであり、大きな進展も見られなかったことから、報告を控えてきました。本町としては一切の過失がなく、訴えの棄却を引き続き主張していく考えですが、何らかの進展があったときには、個人情報の保護に配慮し報告いたします。

第2点目の前町長に対する損害賠償金支払請求にかかる協議については、本町として増額についての検討を前町長に要請していますが、まだ回答はありません。今後においても協議の際には、早期に完済が行えるよう、前町長には検討を求めていると考えています。

3/11 第1回定例町議会

菅原章嗣町長から、4件の行政報告がされました。

お一人の校長先生が 退職されました

「喜茂別中学校」鈴木和則 前校長

3月末日で退職される鈴木和則校長を訪ね、喜茂別中学校での5年間についてお聞きしました。

「この5年間、学校評価の効果的活用を努めてきました。学校を内外に開き、教育活動の検証を深め、同時に質の向上を図ることが目的でした。この学校評価を通して、子ども達にとつて学校が楽しい場になること、わかる実感が得られる授業を進めること、さらには、一人の生徒を全教職員が観る生徒指導や教育相談を充実させることに取り組んできたのです。具体的には、と、校内研修や生徒指導研修を通して教師同士が授業実践を交流し、個々の生徒に関する情報の交流を深めて指導に活かすよう取り組みましたので、学習指導面での課題認識を学校全体で共有することができ、子どもたち



特性を小学校から中学校

ちの学びを深めることにつながったということ。また、私自身も校長として個々の先生や保護者の方々とコミニケーションを深めることに努力してきましたので、お互いの理解も進んだのではないかと思っています。

「評価というのは、結果だけを重視することではなく、取り組んだ過程を振り返り、さらに良い結果を導くための検証材料を得ることだと思っています。このことを学校全体で理解できるようにしたのが、この5年間でした。」

成果が見えてきたがゆえに浮かび上がった、新たな課題認識もあると言います。

「特にこの1年間、小中学校間の連携の必要性を、様々な関係者と議論してきました。個々の子どもの特性を小学校から中学校



まで継続的に見ていくことが、とても重要になっていきます。言い換えれば、小学校から中学校に進んだときの学習や学校生活のリズムの変化をスムーズに乗り越えていけるよう、小学校と中学校が互いに連携して、子どもの成長に関する情報の共有を深めることが求められていると思うのです。

この課題は、家庭教育の重要性にもつながると思っています。小学校と中学校の連携を実現していく上で、子どもたちの成長を家庭がしっかり支えていくことは、何より重要なことです。喜茂別中学校の生徒にこれからもっとも求められるのは、『主体性と自立性』です。その力を育むためにも、学校と家庭が協力し合うことが、これまで以上に求められると思います。」

実践に裏打ちされた子どもたちの教育に対する想いを、最後まで熱く語ってくださいました。

「鈴川小学校」鈴木章実代 前校長

鈴川小学校の鈴木章実代校長も、3月末日で退職されました。3年間の想いについてお聞きしました。

「3年前の前任地で、赴任先として小さな小学校を希望しました。ここに来て、自然の中で地域の人たちに見守られながら子どもたちと一緒に学べるのがわかり、本当に希望が適ったと思いました。そんな想いがありましたから、子どもたちが地域のことを知り誇りに思えるよう、ふるさと教育に力を入れたんです。私は、先輩たちから、赴任先の「町史」をすぐに読むようアドバイスを受けていました。かつて町の危機を救ったアスパラの歴史も、町史で知りました。そんなふるさと

の力を子どもたちとも共有したいという想いで、地域の方に生きる力と夢を語っていた場も何度か設けてきたのです。私たち教師も、地域の方からたくさんのお話を学んできたと思います。」

地域の方々と親密な交流を深めてきたことで、先生にはもうひとつ別の思いも芽生えたと

「学校では、私たち教師も子どもたちから様々なパワーをもらっています。地域の方々からの支援に応えるため、子どもたちのパワーを地域の方々にも感じ取っていただけないかと思っていた矢先に、それを可能にしたのが太鼓でした。倶知安から来られた中村教頭先生ファミリーが太鼓を紹介してくれたことで、全校生徒も夢中になって演奏を学び、そのパフォーマンスもそうですが、なにより演奏するたびに子どもたちが成長していく様子に、地域の皆さんが大きな感動を覚えた



のだと思います。」

開校百周年記念事業も、大きな思い出となりました。

「校長職は初めてでしたので、先生方との意思疎通をどのようにするか、試行錯誤の連続でした。その中で、開校百周年記念事業を成功させたことは、先生方にとつても私自身にとつても、大きな自信になったと思います。式典のあと、廊下に掲示されている歴代校長の肖像を眺めていたとき、よく頑張った！とおっしゃっているような気がして、涙が止まりませんでした。」

潤んだ目頭を抑えながら、赴任して翌年の春学校園に植えたアスパラの苗が、この春初めて収穫できるはず、とうれしそうに話します。アスパラの成長とご自身の任期を重ね、子どもたちと共に暮らした3年間を振り返ってくださいました。

麻生新教育長に聞く



佐藤勝吉前教育長の退任に伴い、前教育次長の麻生隆さんが教育長に就任しました。

麻生隆新教育長は、4月3日の教職員辞令交付式であいさつを行い、学校教育の基本として子どもの「学力」を重視すること、小学校と中学校の「連携」を進めていくこと、教育に携わる者は学校の内部評価や保護者による外部評価などにより自分の位置を謙虚に認識し改善に努めることなどを目標としたい、とメッセージを発しました。このメッセージの背景について、麻生隆新教育長にお聞きしました。

「一言で言えば、平成21年度の教育行政執行方針に基づいて進める、ということに尽きます。3つのキーワードも、この執行方針の理念を理解する糸口として示したに過ぎません。『連携』というのは確かに大きなキーワードですが、小中学校間の連携を目指すうえで、まずそれぞれの学校内部で先生方相互の交流や連携を目指していただきたいという想いを託しています。『学力』は子どもたちが社会に出てから必要となる生きる力の核となるものですが、それは結果だけを言うのではなく、努力し頑張ったという達成感がその基本だと言うことを理解して欲しいと思っています。結果として示されたものをもとに過程を振り返り、次に向けた参考として活かすということは、『評価』の考え方にも当てはまりますね。そして最も大事なことは、これら3つの視点はすべて、『子どものために』という目標に向かう地道な努力のあり方を示したものだと言うことなんです。」

「私自身も含め親子代々が喜茂別で義務教育を受けてきたのだから、地域の子どものために頑張りたい」と話す麻生隆新教育長の言葉は、ことさらの気負いがなく、とても自然な響きを感じさせました。

喜茂別の学校教育を支える 新しい教職員の方々

辞令交付式

4月3日、この春喜茂別町に赴任された教職員の辞令交付式が農村環境改善センターで行われました。

池田正宏教育委員会委員長が辞令の交付を行った後に、麻生隆教育長と渡辺秋雄喜茂別小学校長が歓迎のあいさつを行いました。この中で、今年の「教育行政執行方針」の理念に基づき、特に小学校と中学校の「連携」が大きな課題であり目標であることが示され、子どもたちのために共にがんばっていただきたい、というメッセージが伝えられました。

また、新任教職員を代表して、安保法雄喜茂別中学校長から「地域の期待に応えられるよう力を尽くしたい」と決意が述べられました。最後に、10名の学校評議員に委嘱状が交付されました。

新任の教職員と学校評議員は、次の方々です。

【教職員転入者】※写真右から



- 鳴木香さん (喜茂別中学校)
- 平山純さん (喜茂別小学校)
- 安保法雄さん (喜茂別中学校)
- 岡崎知見さん (喜茂別小学校)
- 麻生隆 教育長
- 渡邊浩司さん (喜茂別小学校)
- 藤木信夫さん (鈴川小学校)
- 青木博見さん (喜茂別小学校)
- 秦泉寺悠加さん (喜茂別中学校)
- 【学校評議員】
- (喜茂別小学校) 阿部昭司さん 山本泰照さん
- 石川三千穂さん 佐藤秀雄さん
- 田中弘子さん 藤塚恵理子さん
- 富田久美子さん 石橋理恵さん
- 堀 浩和さん 松田恵梨子さん
- (鈴川小学校)
- 岩部隆さん
- 菅原優子さん
- 藤原正二さん

写真で振り返る
3・4月の出来事



3月16日(月) 第2回町民まちづくり講座

農村環境改善センターで、第2回町民まちづくり講座が開催されました。倶知安のNPO法人WAOニセコ羊蹄発見の会と協力してエキノコックスの感染実態調査と駆除活動をしている倶知安町風土館の学芸員岡崎さんをお招きし、喜茂別町における「キツネのエキノコックス感染の実態」調査結果の詳細な報告をいただきました。その結果を受けて、全町域に虫下し薬を含んだキツネの餌をまき、エキノコックスをなくす活動を行うことが話し合われました。



3月28日(土) 羊蹄山麓カラオケ会交流会が開催

第39回羊蹄山麓カラオケ会交流会が、農村環境改善センターで開催されました。羊蹄山麓6町村のカラオケ愛好会10団体が、会場持ち回りで年一回一堂に会し、自慢の喉を競いながら交流を深めることを目的としています。今回は、喜茂別からの参加者14名を含む、108名の参加となりました。喜茂別カラオケ同好会の伊藤順一会長が歓迎のあいさつを行った後、歌唱発表が行われ、大いに盛り上がりました。次回開催地は、京極町です。



**4月1日(水)、7日(火)
新入生に交通安全の鈴がプレゼント**

喜茂別保育所の入所式が終わった会場で、新たに入所した園児と進級した園児の一人ひとりに、商工会女性部から黄色い毛糸の交通安全ベルがプレゼントされました。不思議そうに鳴らしてみている子もいます。また、喜茂別小学校の入学式が終わって教室に戻った新1年生にも、商工会女性部はこの交通安全ベルを贈りました。「毎日学校に通うときは車に気をつけてね。」「前にももらったことあるよ。」女性部のこの活動は昭和52年から続いています。

**4月1日(水)
喜茂別保育所で入所式**

喜茂別保育所に今年新たに入所する園児は、この日の入所式に参加した5人と後日加わる2人です。この結果、保育所の園児は65人となります。入所式では、佐藤昌昭所長、菅原章嗣町長、渡辺秋雄喜茂別小学校校長、そして、父母と保育士の会の会長酒井一康さんがあいさつしました。あいさつのなかで、今年11月には新しい保育所がオープンすることが伝えられました。最後に園児と職員との紹介が行われました。



3月19日(木) 松永和之さん、海外青年協力隊でマラウィ共和国に

喜茂別町(緑町)出身の松永和之さん(写真左)が、JICA札幌の石井潔さんと共に菅原章嗣町長を訪れ、青年海外協力隊の一員としてアフリカのマラウィ共和国Malawiで2年間の任務に就くことを報告しました。松永さんはこれまで旭川市内で家具製作の技術を磨いてきましたが、そのノウハウを活かし、アフリカのマラウィ共和国で家具製作技術を普及する活動に携わります。松永さんは、3月25日に出国し、マラウィに向かいました。

3月21日(土) 喜茂別保育所の卒園式・終了式

今年喜茂別保育所を卒園するのは、男子9人、女子4人です。佐藤昌昭所長から保育証書を授与された卒園児は、マイクを持って、将来の夢を披露しました。壇上で一緒のお母さんやお父さんが、卒園児にお祝いの言葉を伝え、保育所の先生方にお礼のメッセージを贈ります。卒園式終了後の会場で、卒園児から先生方にブーケがプレゼントされる、感動的なシーンとなりました。



3月13日(金) 第38回喜茂別中学校卒業式

14名の新たな旅立ちの日です。卒業証書授与後の式辞の中で、鈴木和則校長は「思春期の君たちとあいさつを交わしてきたことが、自分を支える力となってきた。」と言葉を結び、新たな門出を祝福しました。卒業生と在校生による別れの言葉は、ともに過ごした学校生活の思い出に触れます。全校生徒による最後の合唱が行われたのち、一人ひとりが在校生から花束を受け取り、涙でくしゃくしゃになりながら互いに精一杯の笑みを交わし合う退場光景となりました。



**3月19日(木)
喜茂別小学校第62回卒業式**

喜茂別小学校の第62回卒業式では、演壇が広い体育館床面の一角に設置され、会場参列者の一体感をもし出す演出がなされました。今年の卒業生は、男子6名、女子5名。学生服とセーラー服姿の卒業生が一人ずつ渡辺秋雄校長から卒業証書を受け取り、握手と励ましを受けます。在校生と卒業生がお別れの言葉を交わす場面では、全校児童がたくさんの思い出を呼びかけ合い、こだまのように響きあいました。

お知らせ

健康づくり相談室

- 日時：5月20日
- 場所：①双葉克雪センター (10:00~12:00)
②鈴川集落センター (13:00~15:00)
- 内容：栄養ミニ講話、血圧測定、体脂肪測定、健康相談、栄養相談など

※保健師と栄養士が伺い、みなさんの健康づくりを応援します。時間内でいつ来ていつお帰りになってもかまいません。

- 日時：5月26日
- 場所：喜茂別厚生クリニック2階

※「保健師と語るういおしゃべりクリニック」のなかで、健康づくり相談室が行う栄養ミニ講話も実施します。

保健師からのメッセージ

できることから始める健康づくり



保健師の中沢さん(左)

普段食べている食事を振り返ってみましょう

生活習慣病予防に良いとされている食品は、「まごわやさしい」です。「ま」は豆・大豆製品、「ご」はゴマ、「わ」はわかめなどの海藻類、「や」は野菜、「さ」は魚、「し」はシイタケなどのきのこ類、「い」はイモ類です。「カリウムや食物繊維は、余分な塩分を体外に排出するため、腎症を伴わない高血圧の人には、食事に積極的に取り入れてみましょう。」

312940



包括支援センターから、健康を守るための新しい事業
包括支援センターでは、今年度新たに次の二つの事業を実施します。

●連載●ふれあいセンターで働く職員が、みなさんから日々学んでいることや健康づくりについての情報をお伝えします!!

1 保健師と語るういおしゃべりクリニック

喜茂別厚生クリニックと町の保健師が中心となり、毎月第1・第4火曜日と第2・第3木曜日の午前9時から12時まで、喜茂別厚生クリニックの2階を活用して相談事業を実施しています。健康・医療・福祉・介護はもちろんだが、町民の皆さんの生活の中で気になっていることや困っていることなど、保健師と気軽に話してみませんか?また、特段

の相談でなくてもかまいません。保健師やいろいろいるな方と一緒に、おしゃべりを楽しみましょう。

2 みんなの介護予防教室

ふれあいセンター、鈴川集落センター、双葉克雪センターの3カ所、高齢者を対象に運動を中心として口腔機能や栄養バランスを保つための具体的な方法などを体験していただく教室を開催します。各センターでの実施日時については、町広報や回覧等で



厚生クリニック 桂院長の 耳寄りな話

第2話



前回は、高血圧や糖尿病、高コレステロールなどは、食生活を変え、運動するようになると良くはならない、という話をしました。一旦高血圧や糖尿病などになつてしまつと、薬を飲まないといかないのだけれど、その場合でも食生活を変えることは重要です。患者さんの多くは、たぶん従来の食生活を続けたまま薬を飲む、ということでしょうけど、それではなかなか直りにくいですね。食生活の改善だけでは病気が治せないけど、食生活も改善しないと薬だけでは治療効果が薄いです。

でも、食生活を変えるのは、並大抵ではできないことですよ。好きな食べ物を好きな味で食べたいというのは、私たちの本来的な欲望ですから。そこで、一つの考え方ですけど、たとえば塩分を例にとると、塩分の強い食べ物でも食べる量を減らすことで、摂取する塩分を減らせます。これは食事のカロリーを少なくすることになるので、脂肪や糖分などの摂取量を減らす効果もあります。これなら、毎日体重を量って太りすぎを防ぐことで、食生活を改善できますよね。まずはここから、工夫を始めましょうか。

4月6日(月) 鈴川小学校で入学式

鈴川小学校の今年の新入生は、1人です。全校児童と家族の待つ式場に、2人の6年生と手をつないで、松本涼くんが入場します。この春赴任してきた藤木信夫校長先生が、松本涼くんの入学を確認し、歓迎の式辞を述べました。池田正宏教育委員長、菅原章嗣町長や鷹羽徹也PTA会長のあいさつなどの後は、全校児童による「羊蹄太鼓」と「ニセコ連山太鼓」の演奏が行なわれ、思い出に残る入学式となりました。



4月6日(月) 喜茂別中学校で入学式

喜茂別中学校の今年の新入生は、男子6名、女子5名の11名です。この春赴任してこられた安保法雄校長の前で新入生の名前が読み上げられ、晴れて中学生生活のスタートです。学校長式辞のあと、池田正宏教育委員長、菅原章嗣町長、富田泰光PTA会長のあいさつの後、生徒会長の丸屋愛美さんが歓迎の挨拶を行いました。新入生を代表して秋山由衣さんが誓いの言葉を述べた後に、PTA会長から記念品が贈られました。



※喜茂別町公式ホームページにも詳細な記事と写真が掲載されています。ご覧ください。http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/

4月7日(火) 喜茂別小学校で入学式

今年の新入生、男子8名、女子4名の12名が、全校生徒や保護者、来賓の拍手に迎えられ、ブーケで飾られた式場に入場します。担任の岡崎知見先生が新入生一人ひとりの名前を読み上げると、「ハイ」と元気のいい声が返ってきました。渡辺秋雄校長の式辞、麻生隆教育長の告辞、菅原章嗣町長と秋山英広PTA会長の祝辞が行われ、最後は全校生徒による校歌の紹介です。さあ、今日から小学校の生活が始まります。



きもべつんの文芸

俳句◆スズラン俳句会

- 山肌鳥形馬形残る雪 井上久子
- 残り雪ふわりとよぎる鳥の影 福井富子
- あたたかや整形外科に忘れ杖 高谷羽瑠子
- 春一番津軽三味線道連れに 丸山ミヨ子
- 溪の雪早く避けてと福寿草 小出盛子
- 暖かや送り出てなほ立ち話 水上梅子
- 暖かし風をたのしむ車椅子 吉見啓一
- 枝吊りの一位に雪の残りけり 佐藤紅葉
- 暖かや北の大地が跳ね起る 向三郎
- 車道出しクロ失へり残る雪 佐藤翠虹
- 残雪や羊蹄の水宝水 三間登志
- 暖かや靴底につく里の土 水口秋草子

短歌◆喜茂別短歌会

- 春の陽に雪解け水の道光り 向三郎
- 渡る鴉の啼く声長閑 飯田北州
- 若きころ機械マニアと異名あり ケータイパソコン老いて疎まし
- もどり雪夜半に積もりて除雪する 飯田北州
- 今日地神祭に夫祝詞読む 佐藤百合子
- おだやかな春の朝日を背にうけて 丹保希美
- 青空に立ちえぞ富士仰ぐ 丹保希美
- ふと呼ばれ幼な馴染みも共白髪 いさかひ楽しみ思ひ出は今 半崎浩石

児童手当などの申請はお済みですか？

児童を養育している方に対して、児童手当などの各種手当が支給される制度があります。制度の内容は、別表のとおりです。該当する方は、申請が必要です。

手当の名称	支給対象児童	手当月額	所得制限
児童手当	小学校修了前(0歳から12歳到達後の最初の3月31日まで)の児童	・3歳未満▶ 一律10,000円 ・3歳以上▶ 第1子、第2子5,000円、 第3子以降10,000円	・扶養人数に応じて限度額が設けられています。 ※加入している年金制度によっても変わります。
児童扶養手当	次のいずれかに該当する児童(18歳到達後の最初の3月31日まで、ただし、特別児童扶養手当の対象となる中度以上の障害のある児童については20歳未満まで) ・死亡、離婚などで父がいない ・父に就労できない程度の重度の障害がある ・父が法令により1年以上拘禁されている ・父に1年以上遺棄されている ・母が婚姻に因らないで出産した ※施設入所児童および公的年金受給者(保護者または児童)を除く	・1人の場合▶41,720円 ・2人の場合▶46,720円 ※3人目以降は1人につき3,000円加算されます。 ※受給者等の所得により支給額が減額される場合があります。	・受給者(保護者等)の状況により限度額が異なります。 ※受給者が母で養育費を受け取っている場合は、その8割の額が所得額に加算されます。
特別児童扶養手当	療育手帳A又はB判定、身体障害者手帳1・2級程度および3・4級程度の一部、または内部障害・精神障害で同程度の障害がある20歳未満の児童 ※施設入所児童および公的年金受給児童を除く	・1級▶50,750円 ・2級▶33,800円	・受給者(保護者等)の状況により限度額が異なります。

※お問い合わせ先…役場住民福祉課社会福祉係 ☎33-2211 (内)32

住民参加型総合評価落札方式における評価者の募集

小樽開発建設部が施工を予定している「一般国道230号喜茂別町喜茂別交差点工事」の施工業者を決定する手続きへの参加者を募集します。施工業者候補の3社から施行方法などの説明を聞いてその内容を評価し、1社に投票していただくものです。なお、この投票結果は、落札業者決定の評価の中に加えられるものではありません。

- 【対象工事】一般国道230号喜茂別町喜茂別交差点工事
 - 【日時】平成21年6月6日(土) 午後2時から2時間程度
 - 【会場】喜茂別町役場会議室
 - 【募集対象】喜茂別町にお住まいの20歳以上の方
 - 【募集人数】20名
 - 【申込期限】平成21年5月18日(月) 午後5時まで
 - 【申込先】喜茂別町産業振興課 ☎33-2211
- ※お問い合わせ先：地域振興係(謝礼金等はありません。)

春季特設行政相談

国や特殊法人の業務(道路、年金、郵便など)についての苦情や意見・要望をお聞きして、関係行政機関へのあつせんを行い、これらの改善を図ります。相談は無料です。

【とき】5月23日(土)午前10時〜12時

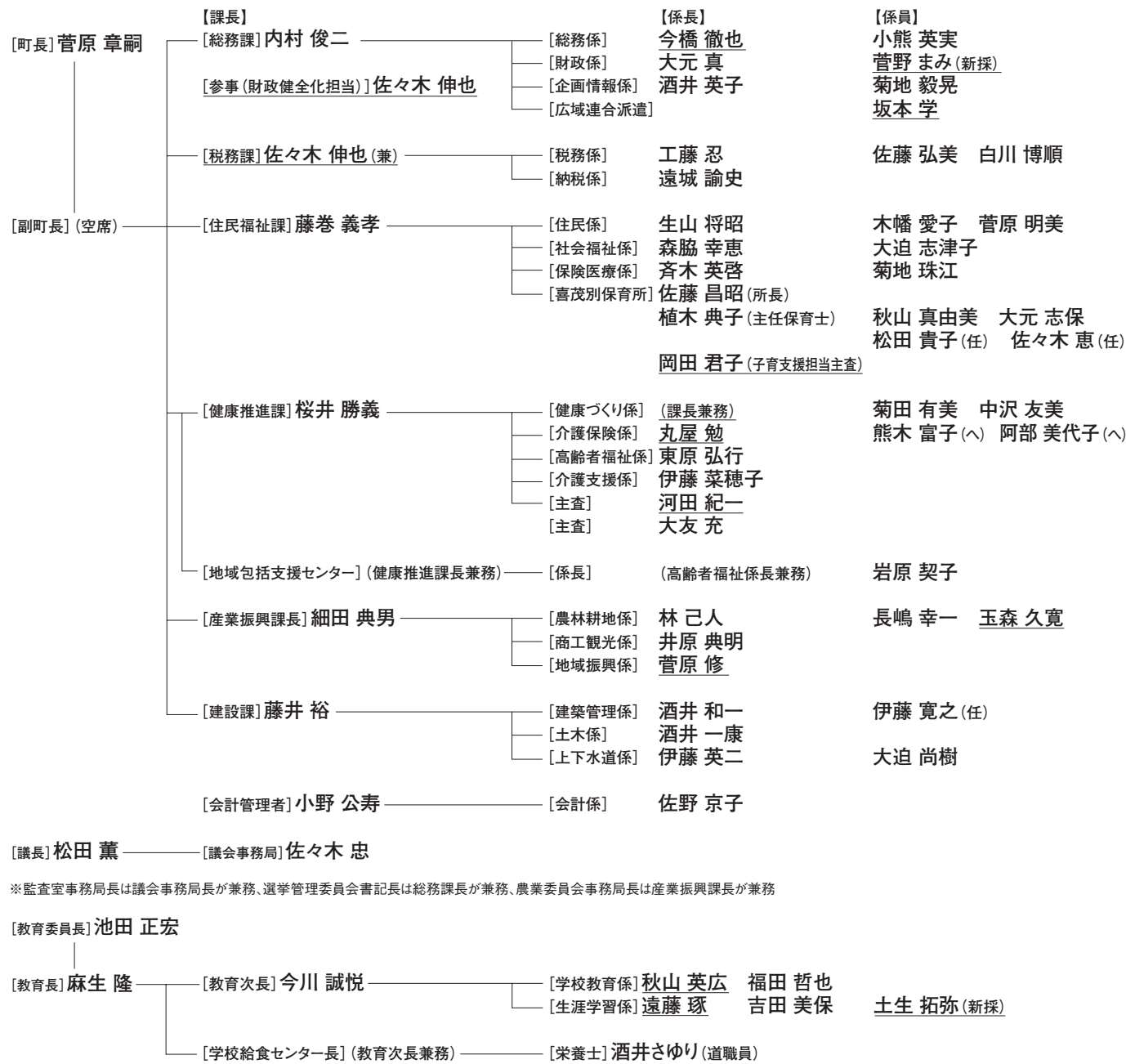
【場所】ふれあい福祉センター

【行政相談員】高田 裕さん(大町1) ☎・☎3333155

※お問い合わせ先…総務課企画情報係または行政相談委員へ

喜茂別町行政機構図

(平成21年4月1日現在)



※下線 ――は4月1日異動者／(任)任期付職員／(ハ)ホームヘルパー

きもっ119

	3月	累計	前年同期
火災	3月	累計	前年同期
建物火災	0件	0件	0件
車両火災	0件	0件	0件
その他	0件	0件	1件
合計	0件	0件	1件
救急	3月	累計	前年同期
急病	16件	37件	33件
一般負傷	12件	47件	67件
交通事故	4件	7件	2件
その他	1件	6件	12件
合計	33件	97件	114件

戸籍の窓口

お悔やみ申し上げます

4月11日 河田 キンさま (89歳) 伏見

4月16日 今泉 軍人さま (70歳) 本町

4月16日 越後 ヒサ子さま (87歳) 伏見

松田 未夢ちゃん (3月21日生まれ) 中里

父 義信さん 母 夏季さん

水上 舞乙ちゃん (3月19日生まれ) 本町

父 将次さん 母 めぐみさん

土門 愛美ちゃん (3月9日生まれ) 緑町

父 琢真さん 母 直美さん

後志支庁からのお知らせ

6月1日は自動車税の納期限です

- 自動車税は毎年4月1日現在自動車をお持ちの方に毎年納めていただく道税です。
- 5月7日(木)に納税通知書を発付しますので、納税期限の6月1日(月)までに納税をお願いします。
- コンビニでも専用紙で納税できます。

※納税通知書が届かない方や納税についてお問い合わせは…後志支庁税務課 ☎0136-23-1334



りゅうせい
住出隆成くん (緑町)

平成20年5月18日生まれ

お父さん隆一さん お母さん絵里奈さん

お母さんからのメッセージ

「いつも笑顔をありがとう!

優しくて強い男の子になってね。」



*まちのカレンダー

※お詫び: 広報きもべつ4月号の「まちのカレンダー」で、広報きもべつ5月号の配布日が4月30日になっていましたが、5月7日の間違いです。訂正のうえ、お詫び申し上げます。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
5/10 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141	11 ●心配ごと相談所 9:00~ ●みんなの介護 予防教室 9:30~ ●みんなの介護 予防教室 13:30~	12 ●ふれあい交流 サークル 10:00~ ●予防接種 10:00~ ●運転免許法定更新時講習 一般 10:30~ 違反 13:00~ 優良 15:15~	13 ●これから母親 わくわくサークル 14:00~ ●しりべし弁護士 相談センター (事前予約)	14 教育長杯GB大会 9:00~ (ふれあい公園ゲートボール場) ●保健師と語ろう おしゃべりクリニック 9:00~ ●ふれあい交流サークル 10:00~ 歯科検診 ● 9:00~ ● 12:00~	15 ●スッキリ体操 14:00~	16 少年教室わんぱく道場 わんぱく見学旅行 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141
17 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141	18 ●心配ごと相談所 9:00~	19 ●ふれあい交流 サークル 10:00~ ●運転免許法定 更新時講習 違反 10:00~ 初回 13:15~ 優良 15:30~	20 ●健康づくり相談室 10:00~ ●健康づくり相談室 13:00~ ●しりべし弁護士 相談センター (事前予約)	21 回覧物配布日 ●保健師と語ろう おしゃべりクリニック 9:00~ ●ふれあい交流 サークル 10:00~	22	23 ●春季特設行政 相談 10:00~ [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141
24 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141	25 ●心配ごと相談所 9:00~ ●みんなの介護 予防教室 9:30~	26 ●保健師と語ろう おしゃべりクリニック [栄養ミニ講話あり] 9:00~ ●ふれあい交流 サークル 10:00~ ●運転免許法定更新時講習 優良 11:00~ 違反 13:00~ 一般 15:15~	27 ●もぐもぐごっくん 教室 10:00~ ●これから母親 わくわくサークル 14:00~ ●しりべし弁護士 相談センター (事前予約)	28 ●ふれあい 交流サークル 10:00~	29 ●スッキリ体操 14:00~	30 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141 蘭越診療所 ☎57-5424
31 春の町民歩こう会 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141 蘭越診療所 ☎57-5424	6/1 ●みんなの介護 予防教室 9:30~ ●心配ごと相談所 9:00~ ●人権相談 10:00~15:00	2 ●保健師と語ろう おしゃべりクリニック 9:00~ ●ふれあい交流 サークル 10:00~ ●予防接種 10:00~ ●乳児健診 12:45~	3 ●しりべし弁護士 相談センター (事前予約)	4 広報6月号配布日 ●ふれあい 交流サークル 10:00~	5	6 ●スズラン俳句会 例会 18:00~ ●大運動会 [救急当番病院] 倶知安厚生病院 ☎22-1141

●:ふれあいセンター ●:農村環境改善センター ●:双葉雪管理センター ●:鈴川集落センター ●:倶知安町文化センター
●:喜茂別高校 ●:喜茂別中学校 ●:鈴川小学校 ●:喜茂別小学校 ●:喜茂別保育所 ●:厚生クリニック
●:岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373

■編集後記

町民まちづくり編集工房が「広報きもべつ」を担当してから、2年が経過しました。「まちの誇りを取り戻す」を年間テーマに、様々な観点から毎月「特集」を組んできました。この特集については、「広報が単なる“お知らせ”に終わらないで、深い部分で“郷土”や“暮らし”と言う視点を提供してくれていると感じています。」(平成20年3月に行ったアンケートの回答から)など、様々な方から好意的な評価をいただいた反面、「行政から住民に向けた情報が少ないのではないか、情報共有の観点からも政策的な情報もしっかりと。」などというご指摘もいただきました。みなさまの声に耳を傾け、少しずつ改善を図ってきましたが、6月号からの大幅なリニューアルに向けて準備を進めています。特集を一層充実させつつ、行政からのお知らせも大幅に増やす紙面構成を検討しています。今後もみなさまの様々な声をお聞きしながら、「広報きもべつ」を編集していきたいと思っております。「住民の目線に立った広報」とは何か。今後も試行錯誤を続けていくことになりそうです。(梅)

■発行

喜茂別町
電話.....0136-33-2211(代)
FAX.....0136-33-3577
URL.....http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp
E-MAIL...info@town.kimobetsu.lg.jp

■編集

町民まちづくり編集工房
電話&FAX...0136-33-3370 (農村環境改善センター内)

人口と世帯 (3月末日現在)

人口 男1,283人 (-15)
女1,269人 (-6)
計2,552人 (-21)
世帯数 1,238戸 (-11)
()は前月比

町民まちづくり
編集工房から

広報きもべつ「編集会議」にご参加ください!!

毎月「編集会議」を開催していますが、これは、町民ならどなたでも参加できる場です。もちろん意見を述べることも自由です。日時等はオフトークとホームページ、新聞などで案内いたしますので、是非ご参加ください。